

科目名称：	会計実務演習Ⅳ	
担当者名：		
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	2
授業の目的・テーマ		
<p>現代社会においては、経済活動の増大と共に財産及び取引の多種多様化が進んでおり、その活動の結果や計画の指針として、また、租税納付目的の基礎として、その他あらゆる分野において簿記の必要性が生じてきています。日本商工会議所の簿記検定試験3級合格レベルの理解を得た学生のみなさんに次なるステップとして、日本商工会議所の簿記検定試験2級(商業簿記)合格レベルの授業を予定しています。3級と比較するとボリュームは多く、昨年度より検定試験の難易度が高くなっていますので理解力を要しますが、会計実務演習Ⅲとあわせて検定合格レベルを目指します。なお、11月の後半からは工業簿記も含めた過去問題や予想問題を出来る限り多く解くことで実力アップを図ります。また、簿記検定のみならず経理実務より経験した経理業界の現状等も踏まえ将来各分野に広く応用できるような内容にしたいと考えています。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>会計実務Ⅲと合わせて日本商工会議所の簿記検定試験2級商業簿記合格レベルを目標とします。講義は履修学生の理解度を確認しながら進めます。</p>		

留学生別科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)					0
全学DP(2)	60			40	100
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 税理士	《経験年数1》 20年

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 連結会計Ⅰ-1	日商簿記3級試験の過去問題を復習しておく。	60分
第2回 連結会計Ⅰ-2	連結会計Ⅰ-1について、復習しておく。	60分
第3回 連結会計Ⅱ-1	連結会計Ⅰ-2について、復習しておく。	60分
第4回 連結会計Ⅱ-2	連結会計Ⅱ-1について、復習しておく。	60分
第5回 連結会計Ⅲ-1	連結会計Ⅱ-2について、復習しておく。	60分
第6回 連結会計Ⅲ-2	連結会計Ⅲ-1について、復習しておく。	60分
第7回 連結会計まとめ	連結会計Ⅲ-2について、復習しておく。	60分
第8回 税効果会計1	連結会計について、復習しておく。	60分
第9回 税効果会計2	税効果会計1について、復習しておく。	60分
第10回 繰延税金資産・負債	税効果会計2について、復習しておく。	60分
第11回 製造業を営む会社の決算処理	繰越延税金資産・負債について、復習しておく。	60分
第12回 過去問演習(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	これまでの総復習(連結会計・税効果会計・繰延税金資産・負債、製造業の決算)をしておく。	120分
第13回 過去問演習(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	これまでの総復習(連結会計・税効果会計・繰延税金資産・負債、製造業の決算)をしておく。	120分
第14回 過去問演習(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	これまでの総復習(連結会計・税効果会計・繰延税金資産・負債、製造業の決算)をしておく。	120分
第15回 過去問演習(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅲ(損益計算書、貸借対照表)の復習をしておく。	120分
第16回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅲ(各種取引、期末評価)の復習をしておく。	120分
第17回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅲ(現金、当座預金調整、銀行勘定調整表)の復習をしておく。	120分
第18回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅲ(債権債務、有価証券)の復習をしておく。	120分
第19回 演習 日商2級演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅲ(有形固定資産)の復習をしておく。	120分
第20回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅲ(リース取引、無形固定資産・研究開発費)の復習をしておく。	120分

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第21回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅲ(引当金、外貨換算会計、税金・株式発行)の復習をしておく。	120分
第22回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅲ(株式発行、剰余金配当処分、剰余金配当処分)の復習をしておく。	120分
第23回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅲ(決算手続)の復習をしておく。	120分
第24回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅲ(収益費用の認識基準・伝票式会計、課税所得の算定)の復習をしておく。	120分
第25回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅲ(本店支店会計、合併・事業譲渡)の復習をしておく。	120分
第26回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの復習をしておく。	120分
第27回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの復習をしておく。	120分
第28回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの復習をしておく。	120分
第29回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの復習をしておく。	120分
第30回 演習 日商2級(授業内ディスカッションをしながら問題演習に取り組む)	会計実務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの復習をしておく。	120分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。</p> <p>また、事前事後学修としては当日の学修範囲について問題集による事後学修が必要であるが、当日だけの復習ではなく毎日30～60分程度の復習を続けることが簿記を理解するためには必要である。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>授業中の提出物・小テスト 40%</p>		
課題に対してのフィードバック		
<p>次回までのプリントは評価し、返却する。また、定期試験は成績確定後、希望者には事務局を通して返却する。</p>		
教科書・参考書		
<p>教科書： よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記2級商業簿記  問題集： よくわかる簿記シリーズ 合格トレーニング 日商簿記2級商業簿記  よくわかる簿記シリーズ 合格するための過去問題集 日商簿記2級</p>		